

# 見える化ウェブサイトのイメージ<都道府県選択画面>

## 都道府県選択

都道府県をお選びください。

都道府県名を  
クリック

### 北海道・東北地方

北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県

福島県

### 関東

茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都

神奈川県

⋮



秋田県

## 市区町村選択

市区町村をお選びください。

市区町村名に  
(複数選択可)

### あ

○○市  △△町  ××村

### か

△△市  ××町  ○○村

### さ

××市  ○○町  △△村

⋮

# <分娩施設選択画面>

〇〇市

分娩施設選択

分娩施設をお選びください。

分娩施設名を  
クリック

〇〇病院

住所：〇〇市・・・

××病院

住所：〇〇市・・・

△△クリニック

住所：〇〇市・・・

・  
・  
・

# <分娩施設個票>①分娩施設の概要

## 〇〇病院

住所 〇〇市…

電話番号 XXX-XXXX-XXXX

HP http://…

項目			(表示例)	
1. 分娩施設の概要				
分娩施設の機能	分娩施設の種別	【選択肢】 ・ 総合病院 ・ 産科を主とする病院 ・ 有床診療所 ・ 助産所	産科を主とする病院	
	周産期母子医療センターの指定の有無	【選択肢】 ・ 総合周産期母子医療センター ・ 地域周産期母子医療センター	総合周産期母子医療センター	
	NICU病床（病院が対象）		有	
	産科病床数		〇床	
	産科区域の特定の有無（病院が対象）	【選択肢】 ・ 産科専用の病棟がある ・ 産科専用のスペースが確保されていて専任スタッフがいる混合病棟	産科専用の病棟がある	
	専門職数	医師数	産科医師数	〇人
			小児科医師数	〇人

備考
総合病院（主だった診療科が複数ある病院）、産科中心の病院、診療所（産院、クリニック）、助産所（助産院）の別を記載しています。
総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターに指定されている場合は記載しています。
新生児科医、看護師が24時間体制で早産児や病気のある新生児の医療を提供しているNICU（新生児集中治療管理室）がある場合は記載しています（診療報酬上の新生児特定集中治療室管理料を算定できる場合のみ記載できます）。
産科で入院する人専用のベッド数を記載しています（産科と他科が同室利用する混合病棟は除きます）。
入院する病棟が「産科専用の病棟」「産科専用のスペースが確保されていて専任スタッフがいる混合病棟」を記載しています。
日中勤務している産科医の数、夜間に勤務している産科医の数を記載しています。非常勤職員等は除いた常勤医のみの数です。
新生児の診察に関わる小児科医の人数を記載しています。常勤医、非常勤医をあわせて換算した医師の数です。

# ＜分娩施設個票＞①分娩施設の概要

項目				(表示例)	備考
1. 分娩施設の概要					
分娩施設の機能	専門職数	助産師数	助産師数	○人	産科関連病棟に勤務する助産師の人数を記載しています。常勤、非常勤をあわせて換算した助産師の数です。
			うちアドバンス助産師数	○人	上記助産師のうち、アドバンス助産師の数です。アドバンス助産師とは、日本助産評価機構 <a href="https://www.josan-hyoka.org/advanced/advanced/">https://www.josan-hyoka.org/advanced/advanced/</a> が一定水準以上の実践能力を持つ助産師を認証する仕組みです。
		看護師数		○人	産科関連病棟に勤務する看護師の人数を記載しています。常勤、非常勤をあわせて換算した看護師の数です。
分娩施設の診療	年間の分娩取扱件数	経膈分娩		○件	経膈分娩の年間件数を記載しています。
		帝王切開		○件	帝王切開出産の年間件数を記載しています。
	入院中に実施される検査等	新生児聴覚検査		有	「新生児聴覚検査」を実施しているかどうかを記載しています。難聴の新生児を早期に発見することができる検査です。
		小児科医による新生児の診察		有	入院中、正常な新生児を小児科医が診察するかどうかを記載しています。
		風疹抗体価が低い産婦に対する風疹ワクチンの接種（出産後の接種）		無	風疹抗体価が低い母親に、入院中のワクチン接種を実施しているかどうかを記載しています。
	産婦健診（産婦健康診査）実施	2週間健診実施		有	
		1か月健診実施		無	

# ＜分娩施設個票＞②助産ケア

項目		(表示例)	備考
2. 助産ケア			
妊娠期のケア	助産師外来実施	有	「助産師外来」を実施しているかどうかを記載しています。助産師外来とは、助産師が医師と連携して、外来診療時に妊婦健診・保健指導をおこなうことです。
妊娠期、分娩期、産褥期のケア	院内助産実施	無	「院内助産」を実施しているかどうかを記載しています。院内助産とは、助産師が医師と連携して妊娠中、分娩の最中、産後のケアをおこなうことです。
産後ケア事業	産後ケア事業実施	宿泊型	有
		居宅訪問型	無
		外来、デイサービス型（個別型）	有
		外来、デイサービス型（集団型）	有
			退院後に利用できる産後ケアを実施しているかどうかを記載しています。

# ＜分娩施設個票＞③付帯サービス

項目		(表示例)	備考		
3. 付帯サービス					
分娩に関わること	立ち会い出産実施		有	立ち会い出産ができるかどうかを記載しています。誰が立ち会えるかなどの詳細な情報は出産施設のホームページを参照してください。	
	無痛分娩実施		有	無痛分娩を実施しているかどうかを記載しています。	
	無痛分娩の指標	麻酔の方法		硬膜外麻酔	硬膜外麻酔、静脈麻酔など無痛分娩で使われる麻酔の方法を記載しています。
		麻酔管理者の医師の資格	【選択肢】 麻酔科専門医 麻酔科標榜医 産婦人科専門医 産婦人科医	麻酔科専門医	麻酔管理者が麻酔科専門医か、麻酔科標榜医か、産婦人科専門医か、産婦人科医かを記載しています。麻酔科専門医、標榜医についてはこちらのサイトをご覧ください。 <a href="http://jalasite.org">麻酔科標榜医とは   JALA (jalasite.org)</a>
		JALA登録		有	JALAとは、無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（医療の専門家で構成されている無痛分娩のための組織）です。
		麻酔の実施体制		24時間対応可能	麻酔の注入が24時間可能か、実施できる時間に制限があり陣痛誘発による計画分娩が必要かを記載しています。
産後の過ごし方に関わること	母子同室実施		有	新生児と母親が一緒にいる母児同室制か、新生児を新生児室に集めて集中管理をおこなう母児別室制かを記載しています(一時的な預かり、医学的理由による母子分離は含みません)。	
居室に関わること	個室		有		
	個室利用の際の差額費用支払いの必要性		無		

# ＜分娩施設個票＞④分娩に要する費用等の公表方法

項目	(表示例)	備考
<b>4. 分娩に要する費用等の公表方法</b>		
分娩に要する費用	<b>HPで公表</b>	一般的な出産による入院にかかる費用を記載しています。一般的な出産による入院とは、母子ともに健康上の問題が特になく、追加の医療行為を必要としない経陰分娩の母親を想定しています。（初産婦と経産婦を別に記載する場合があります）
室料差額	<b>HPで公表</b>	入院する部屋にかかる費用について記載しています。（保険適用の場合は厚生労働省が定めたルールに基づいて決まります。）
無痛分娩に要する費用	<b>院内掲示</b>	無痛分娩を選択したときにかかる金額を記載しています。

# ＜分娩施設個票＞⑤直接支払制度の請求書データからの費用等の概要

項目	(表示例)	備考
<b>5. 直接支払制度の請求書データからの費用等の概要</b>		
平均入院日数	○日	平均の入院日数を記載しています。※
出産費用の平均額等	○○円	出産費用の平均額等(室料差額、産科医療補償制度の掛金、その他の費目を除く)を記載しています。※
室料差額の平均額等	○○円	差額が必要な室に入院した場合の差額の平均額等を記載しています。※
妊婦合計負担額の平均額等	○○円	実際に請求される費用の合計額の平均額等を記載しています。※

※5の数値については、その出産施設で正常分娩をし、直接支払制度を利用した方のデータから算出した平均値です。直接支払制度を利用する場合に医療機関等から提出される専用請求書データから算出しています。